



晴海台小学校の合言葉 「大好き！晴海台！～ ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとに貢献する子ども～」



学校だより



晴海の丘

○しっかり取り組もう 勉強

○きっちり守ろう きまり

○もっと使おう ふれ愛ことば



←HPを登録
してください。

令和5年3月8日号

文責 上久木田雄二



マスク着用について

本日朝から特別に時間を設定して、子どもたちに話をしました。

話の内容は次のとおりです。

みなさんも良く知っているように、全国で3月13日からマスクのきまりが少しずつ変わっていきます。

みなさんと一緒に確かめながら、力を合わせてマスク前の生活に少しずつ戻していきましょう。

3月13日から修了式までは、これまでどおり、学校ではマスクをすることにします。

休み時間や登校や下校の時は、マスクをしてもいいです。マスクをしなくてもいいです。

3月16日の卒業式のことです。

卒業生はマスクを外してもいいです。もちろんマスクをしてもいいです。

先生方も、マスクをする人もいれば、しない人もいます。

卒業式に参加する保護者の方や来賓、4年生や5年生は、マスクをすることとします。

卒業式の後には、卒業生もマスクをすることとします。

春休みは、家の人との約束にしたがってください。

家の人からマスクをするように言われる人はマスクをします。

マスクをするように言われない人はマスクをしなくてもいいです。

新しい学年になる4月7日の始業式からは、マスクはしなくてもいいです。

もちろん、マスクをしたい人や マスクをするように家の人から言われている人は、マスクをしてください。

マスクをしている人がマスクをしていない人に するように言うてはいけません。

逆に、マスクをしていない人が、マスクをしている人に はずすように言うてはいけません。

この2つは、マスク差別と呼びます。マスク圧力とも言います。

マスクをしていることやマスクをしていないことは、一人一人の自由です。それぞれが決めていいことです。マスク差別やマスク圧力はいじめですので、絶対に許しません。

最後になりますが、給食時間の黙食と掃除時間の無言掃除は、学校のマナーとして、これからもずっと続けていきます。給食を準備するときのマスクも必ず着用します。

一度にすべての状況が3年前に戻るとは思っていないです。

保護者を含む同居家族の皆さんの職場の状況や就学先の状況にも大きく左右されることであることも十分理解しています。

それぞれの思いを大切にしながらも、多くの教育学者が懸念している「コミュニケーション上の未発達」への対応は必要だと考えています。

「個人の判断」であるが故の苦しい判断が、それぞれの家庭に重くのしかかることになります。

それぞれの置かれた立場を考慮しながら、子どもたちには、各家庭からの積極的な声かけと働きかけをお願いいたします。

